

おいしいぶどうを消費者へ

～ぶどう「スチューベン」出荷最盛期～

12月上旬、石川青果センターでぶどう「スチューベン」の出荷が最盛期を迎えました。

スチューベンの出荷は10月下旬から行われており、石川地区ぶどう生産部会（斎藤晴彦部会長）の部会員が1日あたり約600箱（1箱2㌔）を箱詰めし、年末までに全国へ約1万6000箱を出荷します。

令和元年の生産量は前年並みの3800箱（1箱約8㌔）が入庫。斎藤部会長は「今年も品質の良いおいしいぶどうができた」と笑顔で話しました。



スチューベンを箱へ詰める部会員

女性部から豆腐作りを学ぶ

～みらいカレッジで豆腐作り体験と料理教室～

11月28日、本店で「A女性大学「みらいカレッジ」の11月講座を開きました。豆腐作り体験と豆腐を使った料理教室を行い受講生4人が参加しました。

女性部みなみ支部田舎館班加工部会の葛西由賀子さんと中山静子さんが講師を務め、豆腐作りを始める前に作業の手順を説明し、受講生は講師のアドバイスを受けながら作業を行いました。また、料理教室では同女性部の直売所部会が運営する直売所「ふれあい市」で販売している豆腐を使用し、「豆腐カレー」や「フライド豆腐サラダ」などを作りました。

受講生は「大豆を煮る時、焦げないようにするのが難しかった。家でも豆腐作りに挑戦してみたい」と話しました。



豆腐作りを体験した受講生（左）

勤労感謝に素敵な贈り物

～子供たちがJAに日頃の感謝～

勤労感謝の日を前に、子供たちがJAの各支店を訪問し、役員に感謝の言葉を伝え、手作りのプレゼントを渡しました。

大坊子ども園
（本店 11/21）



からたけ子ども園
（竹館支店 11/21）



尾上保育園
（尾上基幹支店 11/13）



大きく育ったりんごに児童笑顔

～浅瀬石小学校りんご収穫体験～

黒石市立浅瀬石小学校の3年生19人は11月7日、同市の棟方義光さんの園地でりんごの収穫作業を行いました。

黒石基幹グリーンセンターの佐々木芳彦営農指導係長が講師を務め、収穫作業のポイントについて説明。児童らは教わったとおりに作業をしました。

児童らは、「最初は難しかったけど、たくさん収穫できて楽しかった。家の畑も手伝いたい」と話しました。

棟方さんは「春からりんごの作業を行ったことが、良い体験になってくれればうれしい。浅瀬石地区の子供たちが将来りんご農家になることを期待したい」と話しました。



りんごを収穫する児童